

(別紙2)

令和2年度離島漁業再生支援交付金漁業集落实績報告

令和3年3月1日

1. 対象漁業集落の概要

都道府県名：沖縄県

市町村名：宮古島市

島名：宮古島

協定対象漁業集落名：宮古島漁業集落

協定参加世帯数：80世帯（82人）

（うち漁業世帯数：59世帯（61人））

2. 協定締結の経緯

宮古島市は八重干瀬などに代表される広大な珊瑚礁群に囲まれるとともに、島の南北に黒潮の潮流が流れるなど良好な海域環境を有しており、それらを活用した一本釣漁業、パヤオ漁業、網漁業、潜水器漁業、モズク養殖業等が営まれている。しかしながら、良好な漁場を有している一方、離島という地理的特性に起因する高コスト構造等の条件不利性などから漁業者の減少が進んでおり、この状況を放置すれば本市の漁業集落は一層衰退し、集落及び水産業が持つ多面的機能が低下することも懸念されている。

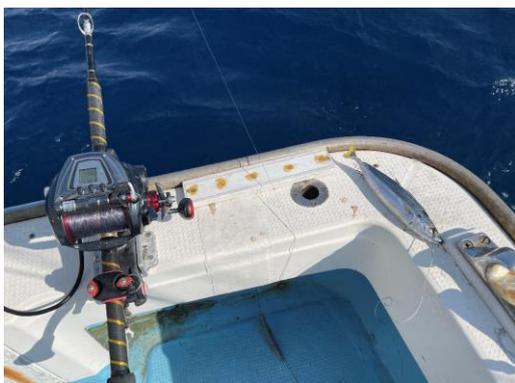
そのようなことから、漁業集落が行う漁場の生産力の向上や漁業の再生に関する実践的な取組などの活動を通じて漁業の再生を図りつつ、水産業が発揮する多面的機能の維持・増進に向け、宮古島集落において集落協定を締結し、離島漁業再生支援交付金による漁業再生活動に取り組むこととした。

3. 取組の内容

①漁場の生産力の向上に関する取組状況

漁獲物を船揚げする前にサメによる食害等の漁業被害があるため、漁場の管理・改善によりサメ駆除を実施し漁業被害の軽減及び安全操業を図ることとした。

・漁場の管理・改善（サメ駆除）



一本釣りによるサメ駆除



駆除したサメ

②漁業の再生に関する実践的な取組状況

高付加価値化により視察を実施し宮古島産マグロのブランド化を図ることとした。また、流通体制改善により活エビ水槽の活用を実施し漁獲物の安定供給を図ることとした。また、水産物を食べる機会が減少したため魚食普及により雑誌へ水産物に関する掲載をすることにより宮古島市産水産物の普及・消費拡大及び漁業への関心の増加を図ることとした。また、海藻養殖の生産不調、雑藻繁茂等の課題があるため海藻養殖の課題解決に向けた取り組みによりモズク早期種付けシステムの構築、栄養塩調査を実施し海藻養殖の安定生産、品質向上を図ることとした。

- ・高付加価値化（マグロ視察）



株式会社クラハン視察



名古屋市中央卸売市場

- ・流通体制改善（活エビ水槽活用）



イセエビタグ



活エビ水槽



活エビ水槽

- ・魚食普及（雑誌掲載）



雑誌表紙



掲載内容

・海藻養殖の課題解決に向けた取り組み（モズク早期種付けシステム、モズク漁場の栄養塩調査）



モズク早期種付けシステム



運転状況



栄養塩調査



試薬等

4. 取組の成果

交付金交付対象漁業者所得平均 1,391 千円

漁業集落漁業就業者数 61 名

漁場の管理・改善の取組でサメ駆除を実施することにより 47 匹のサメを駆除することができ、漁獲物の漁業被害の軽減及び安全操業を図ることができた。

高付加価値化で視察を実施することによりマグロのブランド化に向けた品質管理、出荷体制等に関する課題等が見えてきた。また、流通体制改善で活エビ水槽の活用を実施し漁獲物の安定供給を図っているが、畜養中のイセエビが機械トラブルにより斃死してしまったため今後も出荷に向けた畜養試験を実施し漁獲物の安定供給を図っていく。また、魚食普及で雑誌掲載を実施し宮古島市水産物の普及・消費拡大及び漁業への関心の増加を図ったが、効果を得るためには継続的に実施する必要があると考えているため今後も継続して実施していく。また、海藻養殖の課題解決に向けた取り組みでモズク早期種付けシステムの構築を実施しモズクの種の成長は確認できたが海に出したところうまく成長しなかったため今後も継続して実施し種付け方法等を検証していく。また、モズク漁場の栄養塩調査を実施しリンや硝酸、亜硝酸といった栄養塩が検出された。今後も調査を継続しモズクの成長等への影響や関係性を探っていく。